

11. 関係副詞、複合関係詞

1.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 私は彼女を助けたその日を覚えている。

(day / I / remember / . / when / helped / I /
the / her)

(2) これは彼女が生まれた町です。

(where / is / was / . / town / born / she / this /
the)

(3) そういうわけで彼はテニスが好きなのです。

(why / is / likes / reason / . / he / that /
tennis / the)

(4) このようにして私は英語を学んだ。

(is / English / I / . / this / learned / how)

[解答]

- (1) I remember the day when I helped her.
- (2) This is the town where she was born.
- (3) That is the reason why he likes tennis.
- (4) This is how I learned English.

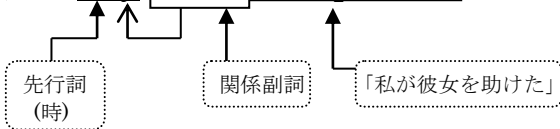
Note

11. 関係副詞、複合関係詞

1. 関係副詞の制限用法

(1) 私は彼女を助けたその日を覚えている。

I / remember / the day when I helped her.



関係代名詞は名詞や代名詞などを先行詞としましたが、時や場所などを先行詞として副詞の働きをするものに「関係副詞」があります。

関係副詞…2つの文を関係づけてつなぐ働きと副詞の役割。

そして、主な関係副詞は、次のようになります。

[主な関係副詞]

- ① **where** …場所を表す名詞の後につけて使う。
- ② **when** …時を表す名詞の後につけて使う。
- ③ **why** …**reason**(理由)という単語の後につけて使う。
- ④ **how** …「～する方法」の意味。先行詞はない。

- ① I know the place **where** she works.
(彼女が働く場所を私は知っている。)
- ② Monday is the day **when** he is busy.
(月曜日は彼が忙しい日です。)
- ③ She told me the reason **why** she cried.
(彼女は泣いた理由を私に話した。)
- ④ I know **how** he has done it.
(どんなふうに彼がそれをしたか私は知っている。)

①の例文は、次の2文に分けることができます。

- ⑤ I know the place. (私はその場所を知っている。)
- ⑥ She works at the place. (彼女はその場所で働いている。)

関係副詞 **where** は例文⑥の **at the place** の代わりに果たしています。なので、下の例文⑦のように、**the place** だけを関係代名詞 **which** や **that** で受けて前置詞 **at** を後に残す、または⑧のように関係代名詞 **which** を使いその前に前置詞 **at** を置くこともできます。

- ⑦ I know the place **which**[**that**] she works at.
- ⑧ I know the place **at** which she works.

こうしたことから、関係副詞と関係代名詞は次のような関係にあります。

関係副詞＝前置詞＋関係代名詞 [関係代名詞＋前置詞]

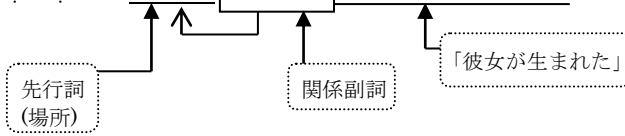
つまり、関係副詞は関係代名詞に前置詞を加えたものだと言えます。

(1)の問題は「私が彼女を助けたその日…」となっていますので、関係副詞 **when** を使って **the day when I helped her** の語順を作りましょう。

Note

(2) これは彼女が生まれた町です。

This is the town **where** she was born.

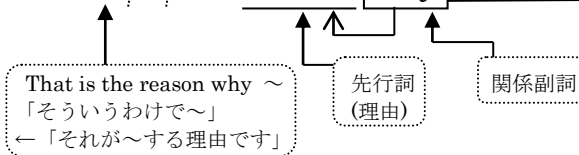


(2)の問題は「…彼女が生まれた町…」なので、関係副詞 **where** を使って **the town where she was born** としてください。

Note

(3) そういうわけで彼はテニスが好きなのです。

That is the reason **why** he likes tennis.



(3)の問題では「そういうわけで」を「それが～する理由です」と考えて **That is the reason why** の語順にしましょう。

また、関係副詞 **why** を使った重要表現には次のようなものがあります。

This[That] is why ~ 「こう[そう]いうわけで～、だから～」
← 「これ[それ]が～の理由です」

It's too noisy. That's why I hate a big city.
(うるさ過ぎる。だから私は大都会がきらいなのだ。)

Note

(4) このようにして私は英語を学んだ。

This is how I learned English.

This is how ~
「このようにして～」
← 「これが～する方法だ」

関係副詞(方法)
※先行詞はない。

(4)の問題では「このようにして」を「これが～する方法だ」と考えて **This is how** の語順で文を始めましょう。

なお、関係副詞と先行詞では次のことに注意してください。

関係副詞 **where, when, why** と先行詞は、そのどちらか一方を省略することができる。

ですから前述の例文①～③は次のようにできます。

- ①② I know the place she works.
③ I know where she works.
(彼女が働く場所を私は知っている。)

- ②① Mondy is the day he is busy.
 ① Mondy is when he is busy.
 (月曜日は彼が忙しい日です。)
- ③① She told me the reason she cried.
 ① She told me why she cried.
 (彼女は泣いた理由を私に話した。)

また、関係副詞 **how** には次の点に注意が必要です。

the way **how** ~ の形は、現代では全く使われない。
 the way ~ か **how** ~ のどちらか一方を使う。

I know the way he has done it.
 = I know how he has done it.
 (どんなふうに彼がそれをしたか私は知っている。)

さらに関係副詞については、以下の点についても注意しましょう。

関係副詞 **where** は、場所を表す名詞を先行詞とするだけでなく、状況や場合を表す名詞を先行詞とすることもある。

Think about the case where smoking does harm to us.
 (喫煙が私たちに害をおよぼす状況を考えましょう。)

先行詞は、関係副詞の前につけられることが多いが、まれに離れたところに置かれることがある。

The day will come when she will forgive you.
 先行詞 ↑ _____ ↓ 関係副詞
 (彼女があなたを許す日が来るでしょう。)

2.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

- (1) 私の娘は 6 時に到着したが、そのとき雪が降っていた。

(arrived / , / daughter / six / . / snowing / at / my / was / it / when)

- (2) 彼はそのホテルへ行って、そしてそこで 3 日間滞在した。

(the / where / , / went / for / he / hotel / days / he / to / three / . / stayed)

[解答]

- (1) My daughter arrived at six,
when it was snowing.
- (2) He went to the hotel,
where he stayed for three days.

Note

2. 関係副詞の非制限用法

- (1) 私の娘は6時に到着したが、そのとき雪が降っていた。

My daughter arrived at six,

「到着した」
arrive(到着する)の過去形

「6時に」

コンマを置く

when it was snowing.

関係副詞の
非制限用法
「～が、そのとき…」

「雪が降っていた」
過去進行形
was/were] + ~ing

関係代名詞と同じように、関係副詞にも非制限用法があります。

非制限用法の訳し方を、再度ここで確認すると次のようでした。

非制限用法(継続用法)の訳し方

- ①「そして～」 ②「しかし～」 ③「なぜなら～」
④「～だけれども」 ⑤「もし～ならば」

- ① He went into the room, where he listened to jazz.
(彼はその部屋へ入っていて、そして、そこでジャズを聞いた。)
- ② I called him on the day, when he was busy.
(私はその日に彼に電話した。しかし、その日彼は忙しかった。)

(1)の問題では「…が、そのとき雪が降っていた」となっていますし、また、**at six**「6時に」は「時」なので、「時」を先行詞とする関係副詞 **when** を非制限用法で使って、～, **when it was snowing** としましょう。**when** の前にコンマを置くことを忘れないようにしてください。

Note

(2) 彼はそのホテルへ行って、そしてそこで3日間滞在した。

He went to the hotel,

go to ~ 「～へ行く」
go - went - gone

コンマを置く

where he stayed for three days.

関係副詞の
非制限用法
「～、そしてそこで…」

「滞在した」
stay の過去形

「3日間」

(2)の問題では、「…、そしてそこで3日間滞在した」となっていますが、the hotel は「場所」ですから「場所」を先行詞とする関係副詞 where を非制限用法で使って、～, where he stayed for three days とすることになります。

ここでも、関係副詞 where の前にコンマを置くことを忘れないようにしましょう。コンマを置かないと制限用法になってしまいますので注意してください。

3.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) やって来る人は誰でも歓迎されます。

(comes / welcome / . / is / whoever)

(2) 奥さんがあなたに言うことは何でも、あなたは従わなければならない。

(obey / wife / must / tells / your / . / you /
you / whatever)

(3) あなたの妻があなたに何を言おうとも、あなたはそれに従わなければならない。

(wife / , / tell / you / your / you / may / obey /
whatever / it / . / must)

(4) 彼は来る時はいつも私に贈り物を持って来る。

(4 brings / he / , / . / me / comes / whenever /
presents / he)

[解答]

- (1) Whoever comes is welcome.
- (2) You must obey whatever your wife tells you.
- (3) Whatever your wife may tell you,
you must obey it.
- (4) Whenever he comes, he brings me presents.

Note

3. 複合関係詞の用法

(1) やって来る人は誰でも歓迎されます。

Whoever comes is welcome.

複合関係代名詞

「～する人はだれでも」

「やって来る人は誰でも」

今まで学んだ関係代名詞と関係副詞をまとめて「関係詞」と呼びますが、これに *-ever* が付いたものを「複合関係詞」といい、それぞれに「複合関係代名詞」と「複合関係副詞」があります。

関係詞 { 関係代名詞
 { 関係副詞

複合関係詞 { 複合関係代名詞
 { 複合関係副詞

まず、複合関係代名詞から見ていきますと、次のようになります。

[複合関係代名詞]

- | | | | |
|---|-----------|---|---------------------------------|
| ① | whatever | ① | 「～するものは何でも」 |
| | | ② | 「何が(を)～しても」 = no matter what |
| ② | whoever | ① | 「～する人は誰でも」 |
| | | ② | 「誰が(を)～しても」 = no matter who |
| ③ | whichever | ① | 「～するものはどちらでも」 |
| | | ② | 「どちらが(を)～しても」 = no matter which |

- ①① He tried to do whatever he wanted.
「～するものは何でも」
(彼はほしいと思ったことは何でもやろうとした。)
- ①② Whatever your problems are, you are sure to overcome them.
「何が～しても」
(君の問題が何であろうとも、君はきっとそれらを克服します。)
- ②① Take whichever you want.
「～するものはどちらでも」
(ほしいものはどちらでも取りなさい。)
- ②② Whichever you may borrow, you must return it by Monday.
「どちらを～しても」
(どちらを借りるとしても月曜までに返さなければならない。)
- ③① Whoever finishes first gets a prize.
「～する人はだれでも」
(最初に終わった人はだれでも賞をもらいます。)
- ③② Whoever may come now, I won't let him in.
「だれが～しても」
(だれが今来ても、私は中に入れません。)

複合関係代名詞はそれぞれ上のように2通り意味があって、①は名詞節(名詞の働きをする主語+動詞)の場合で、②は譲歩(「～だけれども」)の意味になる副詞節の場合です。譲歩の用法は、no matter ~で置き換えられます。上の例文はそれぞれ次のようになります。

- ①② No matter what your problems are, you are sure to overcome them.

- ②⑥ No matter which you may borrow, you must return it by Monday.
- ③⑥ No matter who may come now, I won't let him in.

(1)の問題では「やって来る人は誰でも…」となっていますので、複合関係代名詞 **whoever** を名詞節の用法で使って、**Whoever comes** としましょう。

Note

(2) 奥さんがあなたに言うことは何でも、あなたは従わなければならない。

You must obey whatever your wife tells you.

「～に従う」

複合関係代名詞
「～するものは何でも」

「奥さんがあなたに言うことは何でも」

(2)の問題では「奥さんが言うことは何でも」ですので、複合関係代名詞 **whatever** を名詞節の用法で使い、**whatever your wife tells you** を作って、**obey** 「～に従う」の目的語にすることになります。

Note

(3) あなたの妻があなたに何を言おうとも、
あなたはそれに従わなければならない。

Whatever your wife / may tell / you,

↑
複合関係代名詞(譲歩)
「何が(を)~しても」

↑ 「あなたの妻があなたに何を言おうとも」

/ you / **must obey** / it.

↑ 「~しなければならない」

↑ 「~に従う」

(3)の問題では、複合関係代名詞 **whatever** を譲歩の副詞節の用法で使って **Whatever your wife may tell you** としましょう。 **may** は「そういう可能性がある」「~かもしれない」といった意味を付け加えています。

Note

(4) 彼は来る時はいつも私に贈り物を持って来る。

Whenever he / comes, / he / brings / me / presents.

↑
複合関係副詞
「~するときはいつでも」

↑ 「彼が来るときはいつでも」

↑
bring A B
「AにBを持って来る」

複合関係副詞は、次のようになります。

[複合関係副詞]

- | | | | |
|---|----------|---|-------------------------------|
| ① | whenever | ① | 「～する時はいつでも」 |
| | | ② | 「いつ～しようとも」 = no matter when |
| ② | wherever | ① | 「～するところならどこでも」 |
| | | ② | 「どこで～しようとも」 = no matter where |
| ③ | however | ① | 「どんなに～しようとも」 = no matter how |

- ①① You can work whenever you like.
「～する時はいつでも」
(好きな時にいつでもあなたは働くことができる。)
- ② ② Whenever you come, we will be waiting for you..
「いつ～しようとも」
(君がいつ来ようとも、私たちは君を待っているでしょう。)
- ②① You may go wherever you want to.
「～するところならどこでも」
(行きたいところならどこでも君は行ってよい。)
- ② ② Wherever she goes for dinner, I'll go, too.
「どこに～しようとも」
(夕食に彼女がどこに行こうとも、私も行こう。)
- ③② However hard your work, I won't help you.
「どんなに～しようとも」
(どんなに君の仕事がきつかりようとも、私は手伝わない。)
- ③ ③ However you try to persuade me, I won't change my mind.
(どんなに君が私を説得しようとしても、私は決心を変えない。)

複合関係副詞も **whenever** と **wherever** にはそれぞれ上のように 2 通り意味があって、①は名詞節の場合で、②は譲歩の意味になる副詞節の場合です。

however には譲歩の意味しかありません。例文③②の **However hard** のように〈**however**＋形容詞・副詞〉で意味のひとつかたまりになっていますが、③③のように **however** だけのときもあります。

また、複合関係代名詞と同じく、譲歩の用法はそれぞれ **no matter** ～で置き換えられます。

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(5) 行きたいところはどこにでも、君は行ける。

(you / can / . / to / wherever / go / you / go /
want)

(6) 彼女はどこにいようとも、幸せになるだろう。

(she / , / happy / will / be / wherever / be / . /
she / may)

(7) どんなに一生懸命やろうとしても、私たちは
彼を満足させることはできない。

(try / we / hard / him / can't / , / . / we /
however / satisfy)

[解答]

- (5) You can go wherever you want to go.
- (6) Wherever she may be, she will be happy.
- (7) However hard we try, we can't satisfy him.

Note

(5) 行きたいところはどこにでも、君は行ける。

You can go wherever you want to go.

↑
複合関係副詞
「～するところはどこでも」

↑
「あなたが行きたい
ところはどこにでも」

(5)の問題では「行きたいところはどこにでも…」となっていますので、複合関係副詞 **wherever** を使って、**wherever you want to go** の語順を作りましょう。これを「君は行ける」の **You can go** の後に置くことになります。

Note

(6) 彼女はどこにしようとも、幸せになるだろう。

Wherever she may be, she will be happy.

複合関係副詞(譲歩)

「どこで(に)~しようとも」

「彼女はどこにしようとも」

(6)の問題では「彼女はどこにしようとも…」ですので、複合関係副詞 **wherever** を譲歩の意味で使って、**Wherever she may be**, とすることになります。

この **may** は可能性を表していて、「ここにいるかも知れないし、また、あそこにいるかも知れないが…」といった不確定な気持ちのようなものを示しています。ただし、この **may** を用いるのは文語的な言い方で、口語では **Whatever she is** とするのがふつうです。

Note

(7) どんなに一生懸命やろうとしても、私たちは
彼を満足させることはできない。

However hard we try, we can't satisfy him.

複合関係副詞(譲歩)

「どんなに~しようとも」

「どんなに一生懸命
やろうとしても」

「~満足させる」

(7)の問題では「どんなに一生懸命やろうとしても…」ですので、**However hard we try** を作りましょう。

however は元々「どのように、どんなふうに」の意味で様子や状態をたずねる **how** を強めた語です。**how** 自体が様子や状態を表すことば、つまり形容詞や副詞とつながっているいろいろな表現、たとえば **how old** や **how tall** などとつながって意味を表すことばですから、**however** もそれと意味的に密接な関係がある形容詞や副詞（例えばここでは「一生懸命」ですが）が続くときは、**however** の後にその語を続けることになります。

ですので、この(7)の英文では **However hard** としなければいけません。間違えて、**However we try hard** としないように注意しましょう。

